

< 農協法の改正が 11 日の国会で成立しました >

改正のポイントは中央会の指導力強化・JA 経済連の情報公開・共済事業の契約者保護などの中で、農産物販売戦略の強化が含まれています。組合員以外への直接販売を拡大することで、経済事業を積極的に推進することになります。

==== 「コメ新時代」生産地と消費者を繋ぐ「産直純米」 =====

RIの産直純米は産地精米が基本に農協の限定した産地銘柄です。

産直純米は生産者と農協バージョンがあり、今回のRIレポートでは、生産者バージョンをご紹介します。

生産者バージョン（生産者精米）は、農業技術通信社が紹介窓口となります。

同社は月刊誌「農業経営者」を発行し、全国で購読者3万件を保有しており、産地、生産者情報は豊富です。

既存の流通に乗せづらかった生産者のお米を取り組むことにより、有機米や特殊な栽培米など少数派のお米も品揃えが可能です。差別化しにくいお米売り場に特徴がでます。

生産者が、自ら精米し責任をもって、産地から発送し、店舗へ直に少量のロットから対応できます。

* 岩手県森川さんのひとめぼれ、山形県渋谷さんのはえぬぎ、新潟県横井さんのこしひかり、*

* 栃木県鈴木さんのミルクィークイーンを初め、全国各地の生産者から探します。*

* 産地、品種、栽培のこだわりなどご要望にお応えしていきます。*

現在でも、自分たちのお米を消費者へ届けたい、食べていただける方とも交流したいという熱意を持った生産者が各地に多数おります。店舗イベントの企画に参加したい積極的な生産者もおります。

産直純米は16年産からの展開を予定しておりますが、15年産も少量準備しています。

「産直純米：生産者バージョンのお問い合わせ・お申し込み・資料請求は？」

農業技術通信社までEメール：agri@farm-biz.co.jp

〒169-007 東京都新宿区高田馬場4-30-19

TEL 0120-555-184 FAX 03-3360-2698 ホームページ：www.farm-biz.co.jp

産直純米をご提案した際の反応。

ライスアイランドらしい企画！と期待感を込めて言っていました。生産者の顔が見えるお米で、お店のイメージアップにいいねとか……。生産者リストが豊富で、お米、産地選定には事欠かないし、何よりもお客様へ豊富な提案ができることが非常にいい。このような企画を探していたとも……。中元商戦から取り組みたいので、早く提案してほしい……。店内にパネル掲示のみで、お客様から注文をもらい、お客様へ直にお届けすることもできますか？というバイヤーからの声も……

来週のRIレポートは、「産直純米クーポン」を予定しております。6/21お届けです

不要の方はチェックしてご返信ください FAX 058-252-5115

御社名 担当者様名 電話番号 E-mail アドレス